

2025年度 第1回自治医科大学附属病院医療安全管理監査委員会 報告書

1 日時

2025年10月22日(水) 10:00~12:00 立体駐車場棟 大会議室

2 監査委員

委員長 尾澤 巖(地方独立行政法人栃木県立がんセンター 理事長)
副委員長 大槻 マミ太郎(自治医科大学 副学長)
委員 内山 聖(悠久崇徳学園 副理事長)
山口 育子(認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長)
齊藤 正昭(自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全管理室長)

3 自治医科大学附属病院出席者

管理者	川合 謙介(病院長)
医療安全管理責任者	今井 靖(副病院長)
医療の質向上・安全推進センター長	新保 昌久(病院長補佐)
医薬品安全管理責任者	片野 昌宏(薬剤部副薬剤部長)
医療機器安全管理責任者	木村 好文(臨床工学部技師長)
医療放射線安全管理責任者・代理	寺島 洋一(画像診断部技師長)
診療録管理責任者	興梠 貴英(医療情報部長)
感染制御部長	笹原 鉄平
病院事務部長	桑原 健

4 監査方法

特定機能病院としての医療安全管理体制等が機能しているか等、医療安全管理の取り組み状況等について、外部監査員による必要な是正措置を含む助言や指導を行う

5 監査実施項目

- 1 自治医科大学附属病院医療安全管理について
- 2 高難度新規医療技術の導入及び未承認新規医薬品等を用いた医療提供について
- 3 医療放射線安全管理の現状について
- 4 院内感染症対策について
- 5 院内ラウンド

6 監査結果及び意見

- ・医療安全に係る体制ならびに業務の状況について監査を実施した結果、医療に係る安全管理が適正に実施されていることを確認した。
- ・医療安全文化調査の回答率が全体で63%、特に医師の回答率が23%と低いため、調査の意義を職員に徹底して周知する必要がある
- ・他院では、RRS(迅速対応システム)に患者家族の参加を促す取り組みがあるため、そのような視点を取り入れてほしい。
- ・若手スタッフへのインシデントレポート教育は、実際にレポートを書く機会を設けることが重要。
- ・QSマネージャーの職種や職階にばらつきがあるため、将来的な人材育成の観点から継続的な育成体制の整備を検討すると良い。
- ・2025年度の目標と活動計画から患者の意思決定支援、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)が外れているが、昨年度の診療報酬改定により入院料の通則に入った背景を踏まえ、形骸化してしまうことを懸念する。ACPは患者ひとりひとりによって異なるので、患者に対して丁寧な説明、中身のあるACPの取り組みの継続を求める。

以上